

LIFE に連携するリハビリテーション計画書の作成方法

リハビリ計画画面 <<サービス計画>>リハビリ計画> 画面で LIFE に連携するリハビリテーション計画書を作成します。リハビリテーション計画書を CSV ファイルに出力し、LIFE 専用 Web サイトで取り込みます。出力機能は 4 月末のバージョンアップにて機能追加する予定です。

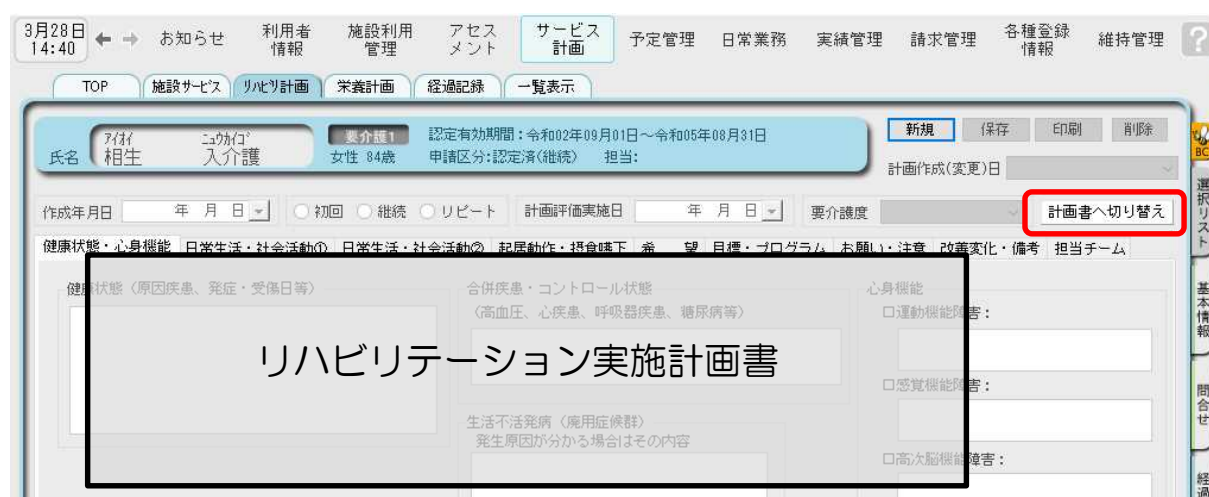
各項目の記載要領については、介護保険最新情報 Vol.936「リハビリテーション・個別機能訓練・栄養管理及び口腔管理の実施に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」をご確認ください。

<https://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou-files/documents/2021/0317103852381/ksvol.936.pdf>

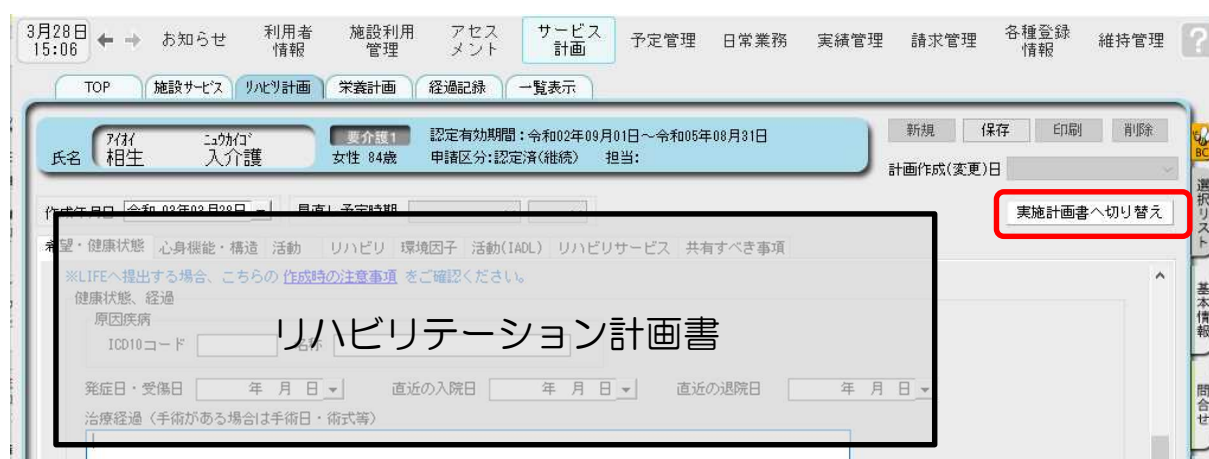
<リハビリテーション計画書画面の開き方>

<<サービス計画>>リハビリ計画> を表示すると、まず既存のリハビリテーション実施計画書を入力する画面が表示されます。

画面右上の[計画書へ切り替え]をクリックして、計画書入力画面を表示します。



リハビリテーション実施計画書へ戻る場合は、右上の[実施計画書へ切り替え]をクリックします。



＜リハビリテーション計画書の作成方法＞

- ①＜リハビリテーション計画書＞画面で、作成する利用者を利用者リストから選択します。
[新規]ボタンをクリックして、入力を開始します。
- ②[希望・健康状態]タブの健康状態、経過では病名に対応するICD10コードを入力します。
ICD10コードは、別紙「LIFEに入力するコードの説明等について」をご確認ください。

TOP 施設サービス リハビリ計画 栄養計画 経過記録 一覧表示

氏名 相生 入介護 女性 64歳 認定有効期間: 令和02年09月01日～令和05年08月31日 申請区分: 認定済(継続) 担当: 計画作成(変更)日 01 令和03年03月28日

作成年月日 令和 03年03月28日 見直し予定時期 令和03年07月

希望・健康状態 心身機能・構造 活動 目標 環境因子 活動(IADL) リハビリサービス 共有すべき事項 ※LIFEへ提出する場合、作成時の注意事項をご確認ください。

利用者 利用者情報から複写 氏名 相生 入介護 〇男性 ●女性 生年月日 昭和 12年02月22日 要介護度 要介護1

利用 リハビリテーション担当医 氏名 氏名 職種

本人の希望(したい又はできるようにになりたい生活の希望等) 家族の希望(本人にしてほしい生活内容、家族が支援できること等)

健康状態・経過

原因疾病 ICD10コード 名称

発症日・受傷日 年 月 日 直近の入院日 年 月 日 直近の退院日 年 月 日

治療経過(手術がある場合は手術日・術式等)

合併疾患・コントロール状態(高血圧、心疾患、呼吸器疾患、糖尿病等)

合併疾患 ICD10コード 名称 ICD10コード 名称 ICD10コード 名称

- ③[心身機能・構造]タブ、[活動]タブは選択肢がボタンになっています。いずれか1つをクリックしてください。非選択に戻す場合は SHIFT キーを押しながら選択したボタンをクリックします。

作成年月日 令和 03年03月28日 見直し予定時期 令和03年07月

希望・健康状態 心身機能・構造 活動 目標 環境因子 活動(IADL) リハビリサービス 共有すべき事項

項目	現在の状況		活動への支障		特記事項(改善の見込み含む)
	有	無	有	無	
筋力低下	有	無	有	無	
麻痺	有	無	有	無	
感覚機能障害	有	無	有	無	
関節可動域制限	有	無	有	無	
摂食嚥下障害	有	無	有	無	
失語症・構音障害	有	無	有	無	
見当識障害	有	無	有	無	
記憶障害	有	無	有	無	

- ④[目標]タブではICF（国際生活機能分類）を選択して短期目標と長期目標を作成します。
ICF（国際生活機能分類）は別紙「LIFEに入力するコードの説明等について」をご確認ください。

リハビリテーションの短期目標(今後3ヶ月)

心身機能

目標 ICF 名称

リハビリテーションの長期目標

心身機能

目標 ICF 名称

目標とそのICF名称をそれぞれ選択してください。項目によって選択範囲が決まっているので別紙「長期目標・短期目標の選択範囲」を確認して選択してください。
目標は3つまで入力できます

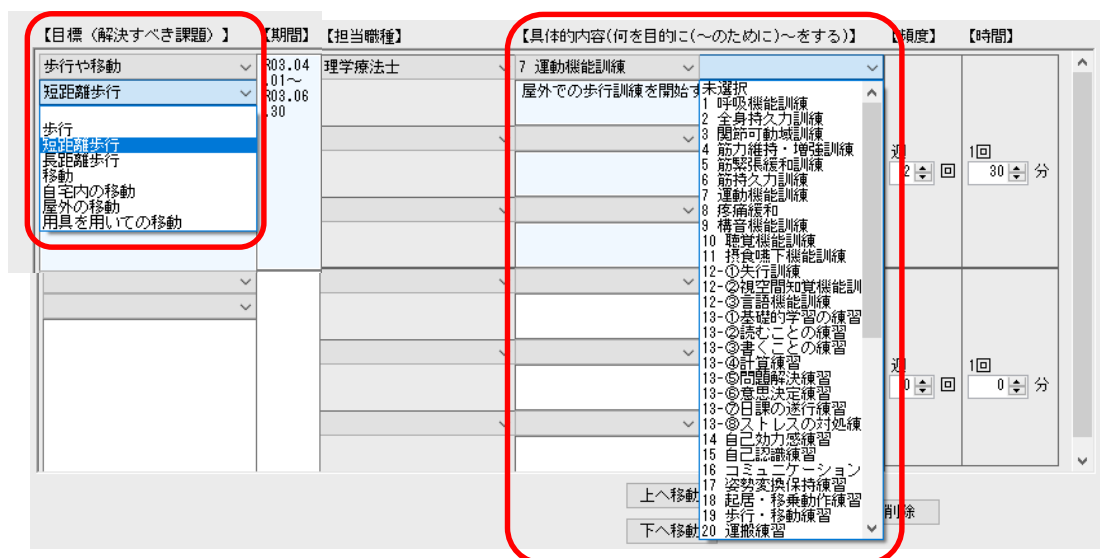
⑤[環境因子][活動 (IADL)][リハビリサービス][共有すべき事項]は、主に居宅サービスをご利用になる場合の内容です。これらのタブで入力した項目は、別紙様式2-2-2に記載します。印刷時には、出力する/しないを選択できます。

⑥[環境因子] タブの社会参加の状況は、「興味関心チェックコード」を選択します。
帳票には自由入力欄の内容を出力します。

⑦[リハビリサービス]タブの【目標(解決すべき課題)】はICFコードの「目標(解決すべき課題)」「ICF 名称」から選択します。自由入力欄はICFコードの「含まれる行為」を用いて記載します。LIFE【具体的内容】は支援コードの(大項目・再項目)から選択します。いずれも帳票には自由入力欄に記載した内容を出力します。

ICFコード、支援コードは別紙「LIFEに入力するコードの説明等について」をご確認ください。

【期間】は右クリックしてメニューから「期間」を選択すると、カレンダーから入力できます。帳票には自由入力欄の内容を出力します。



⑧帳票および LIFE 出力について

リハビリテーション計画書は改ページには対応していないため、自由入力欄に入力した全ての内容を印刷するわけではありません。

また、LIFE に連携する情報は各項目で定められた文字数しか連携できません。

※誤ってクリックして選択したものを非選択(何も選択されていない状態)に戻す場合は、SHIFT キーを押したまま、誤って選択したラジオボタンを左クリックしてください。